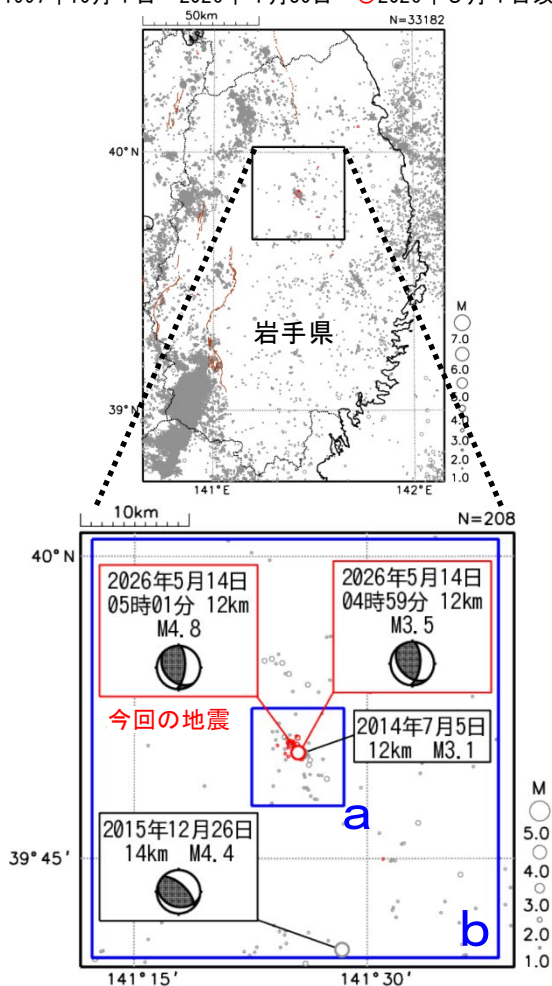


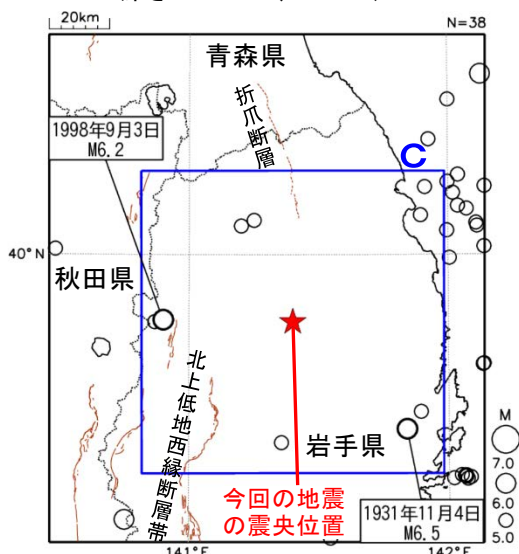
## 5月14日 岩手県内陸北部の地震

震央分布図  
(1997年10月1日～2026年5月31日、  
深さ0～30km、 $M \geq 1.0$ )

○1997年10月1日～2026年4月30日 ○2026年5月1日以降



震央分布図  
(1919年1月1日～2026年5月31日、  
深さ0～50km、 $M \geq 5.0$ )

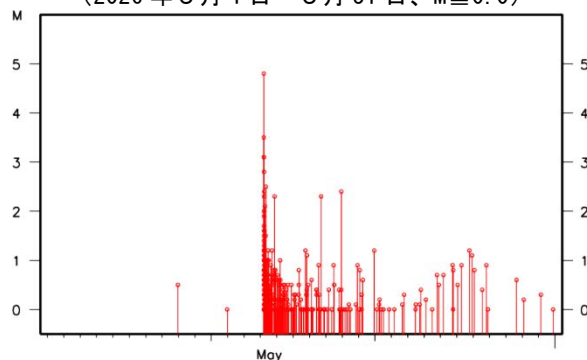


震央分布図上の茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

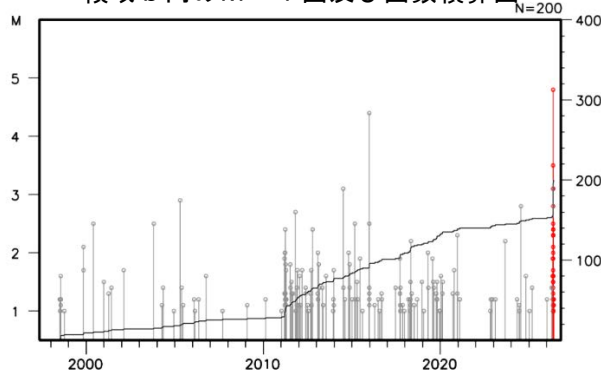
2026年5月14日05時01分に岩手県内陸北部の深さ12kmでM4.8の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構は東北東－西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震の震央近傍（領域a）では、5月14日04時59分にM3.5の地震（最大震度2）が発生して以降地震活動が活発となり、14日04時から06時までに震度1以上を観測する地震が5回（震度4：1回、震度2：1回、震度1：3回）発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域b）ではM3.0以上の地震が2回発生していた。領域bでM5程度の地震が発生したのは今回が初めてである。

領域a内のM-T図  
(2026年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.0$ )



領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0以上の地震が2回発生している。1998年9月3日にはM6.2の地震（最大震度6弱）が発生し、負傷者9人などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域c内のM-T図

